

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.141

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	社会教育法			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和	36 年度	
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると				終期	未定	
(小項目)		生涯学習						
施策	1	生涯学習の推進						
基本事業	1	学習活動の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無			<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無			<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求			<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要 (PLAN)

目的	女性学級・成人学級・高齢者学級および公民館短期講座を開設することにより、市民の多様な学習ニーズに応え、自主的な学習を通じて市民が豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に過ごすことができる環境を作る。		事業内容 (R1)	① 女性学級 8学級 ② 成人学級 4学級 ③ 高齢者学級 8学級 ④ 公民館短期講座 2講座				
実施方針	① 社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと、学級長を中心に円滑な学級運営を行うとともに、適宜、社会教育指導員が助言・サポートを行うことで学習内容の充実を図る。 ② 公民館短期講座については、市民の興味関心の高い分野に焦点を当てたテーマ学習を引き続き取り入れることにより、多様な学習ニーズに合った学習機会の提供に努める。		当初からの変更点	人権問題・環境問題・防災等の課題を取り入れたテーマでの学習を行う。また、学級・講座開催に当たっては、市内社会教育施設の積極的な活用を併せて図る。				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学級開設数	22	22	23	23	24	学級
	2	学級参加延人数	3,302	3,085	3,200	3,200	3,300	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	学級学習の内容を有意義と思った割合		98.3	99.1	94.0	94.0	94.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①新規短期講座の開設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	466	0	466	466	564

事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業
-------	-----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①女性学級8、成人学級4、高齢者学級8の計20学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートにより学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習内容の充実に努めた。 ②公民館短期講座では、子育て世代の女性を対象としたライフスタイル講座と、鳴門市における歴史文化を「阿波学会総合学術調査」「鳴門の渦潮 世界遺産登録学術調査」の調査研究成果から学ぶ歴史文化講座を開設した。 ③学習満足度・ニーズ等をアンケートにより把握し、学級長や公民館長に結果を還元した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学級開設数	22	22	22	23	23	学級
	2	学級参加延人数	3,085	2,988	3,100	3,200	3,200	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	学級学習の内容を有意義と思った割合		99.1	100.0	99.0	99.0	99.0	%
	目標達成率(実績/目標)			106.4				%
事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		417,344	0	394,944	0	394,944	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		417,344	0	394,944	0	394,944		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学級学習の内容を有意義と思った割合		成果指標に対する所見	学級・講座終了時に受講者を対象に実施したアンケート調査においては、学習内容について「大変よかった」「よかった」と回答したものの割合が成果指標を上回っており、高い満足度を得ている。		
	目標	94.0	%				
	実績	100.0	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。引き続き、社会教育指導員の人材確保、資質向上が必要である。 ②学習内容のマンネリ化を防ぐため、受講者のニーズに応えた多様な学習内容を積極的に取り入れることが必要である。 ③各種学級の開設は、特定の熱意ある学級長に依存する傾向があり、新たなリーダーの育成が必要である。 ④新たな受講生を増やすために、講座の構成や内容、周知広報の方法の検討を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	各種学級の講座構成や内容について検討を行い、受講生のニーズに沿った講座の開設を計画する。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設を維持するとともに、周知広報の方法についても多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。			
	令和3年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しをおこない、様々なニーズに対応できる講座の開設を検討する。			